



## PICだより

太平洋諸島センター(PIC、正式名称、南太平洋経済交流支援センター)は、1996年10月に、太平洋島嶼国および豪州・ニュージーランドの16カ国で構成される太平洋諸島フォーラム(PIF)と日本政府との間で設立された国際機関です。PICの主たる活動は日本と太平洋島嶼国間の貿易・投資・観光の促進ですが、本誌では今号から直近の半年間においてPICが実施しているビジネスプロモーション活動について紹介していきます。

### 【国際化粧品展への出展、島嶼国コスメ企業が初参加】

1月20日から22日、第5回国際化粧品展が東京ビックサイトにて開催され、3日間で約25,000名の来場者が訪れました。PICもブースを出展し、バヌアツ、サモア、ニウエの民間企業を現地から招待しました。また、南太平洋の商品を扱う日本企業もPICブースで各商品を紹介しました。

会場には、シラ駐日サモア大使も来場し、大使自ら来場者に商品をPRするなど、活発なプロモーションがなされ、大変有意義な商談が行われまし

た。特に当センターで抗酸化試験を行ったタマヌオイルは注目を集め、日本の市場では目新しいため、新製品の開発や新商材の取り扱いをご検討中の方々に関心を持たれました。

### 【FSM チューク州とマーシャル諸島を訪問】

2月後半から3月初旬にかけ、高田プロモーションコーディネーターがミクロネシア連邦のチューク州とマーシャル諸島を訪問しました。チューク州では、州観光局協力のもとで観光スポットを視察、担当者らと同州の観光促進について協議しました。

マーシャル諸島では、資源開発省にて政府の貿易担当官、現地企業関係者を対象に貿易促進のためのセミナーを開催、これまでに日本に輸入されている太平洋諸島の製品例や近年の日本市場のニーズや傾向などについて話しました。

セミナーには、1月の新内閣発足で資源開発大臣に就任されたアルフレッド大臣も出席。同大臣は開会挨拶の中で、これまで以上に同省とPICが緊密に連携し、マーシャル諸島から日本への貿易拡大に向け取り組んでいくことを期待すると発言されました。また、同省との話し合いの中では、精

巧な作りとバリエーションの豊富さで日本でも注目が高まっているアミモノ(マーシャル諸島の工芸品)などを中心に日本でのプロモーションについて協議しました。

### 【大盛況を呈したマリンドIVINGフェア】

4月1日から3日まで、池袋サンシャインシティにて開催されたマリンドIVINGフェア2016に出展しました。太平洋諸島各国の駐日大使館や観光局、現地のダイビングインストラクターの皆さんと一緒に、太平洋諸島で楽しめるマリニアクティビティや南の島の最新観光情報をプロモーションしました。

初日のディスティネーションセミナーでは、海の魅力を中心にフィジー、バヌアツ、ソロモン諸島について紹介、ダイバーや新しいディスティネーションを目指す旅行者の注目を集めました。

### 【クック諸島でミニビジネスセミナー開催】

5月初旬に、高田プロモーションコーディネーターはクック諸島を訪問しました。

クック諸島の首都があるラロトンガ島では、クック政府外務貿易省や投資ビジネス庁と協力のもと、政府の貿易担当官、現地企業関係者を対象に貿易促進のためのセミナーを開催、これまでに日本に輸入されている太平洋諸島の製品例や近年の日本市場のニーズや傾向などについての情報を提供しました。また、現地のココナッツオイルやタマヌオイルを製造しているRITO社や、南太平洋の島嶼国の女性たちのフォーマルなドレスを作っているTAV社を訪問し、日本市場でのビジネスプロモーションに関する戦略について意見を交換しました。

### 【パシフィック・アイランダーズ・クラブ懇談会】

6月28日、第20回Pacific Islanders Club 懇談会を開催しました。第1部では高田プロモーションコーディネーターより太平洋諸島センターの2016年前半の活動について報告。第2部では、小林泉大阪学院大学教授のモデレーターで、JICAの三村悟さん、エッセンシャルリージャパンの平田奈々さんより「ポリネシアから太平洋へ」というテーマで講演していただきました。三村さんからは、サモアを中心としたポリネシアの人びとや社会の様子、また、経済支援を行う上での特徴などについて、平田さんからは、日本においてラグビーなどの分野で活躍するポリネシアの選手たちの生活や観光地としてのクック諸島の魅力についてお話していただきました。

### 【明治大学リバティアカデミーにて東教授の講演】

7月2日、明治大学とPICとの共催で開催されたオープン講座「太平洋における憲法と安全保障」が明治大学駿河台キャンパス・リバティホール1013教室にて行われました。

講師の東裕日本大学法学部教授より、最初に太平洋島嶼国をめぐる政治状況について、憲法の視点から比較する分析について説明がなされました。とりわけ、トンガ王国の方が日本よりも古い時代から立憲君主国として憲法制定を成し遂げていたことは、受講者もかなり驚いておりました。また後半は、島嶼国のリーダー的な役割を担っているフィジーにおける近年のクーデターとバイニマラマ政権が進めてきた選挙改革と民主化の動きについてわかりやすく解説して頂きました。

